

## 市民ワークショップ実施結果

### 開催概要

目的	次期総合計画の策定にあたり、市民が考える「茅ヶ崎市の将来」を明らかにするとともに、「市民の想い」を反映した計画とするための基礎資料とする。
日時	第1回：平成30年7月15日（日）10：00～12：30 第2回：平成30年8月12日（日）10：00～12：30 第3回：平成30年8月25日（土）10：00～12：30 第4回：平成30年9月8日（土）9：30～12：00
場所	市役所本庁舎4階会議室
参加者	公募市民（HP等での公募）（31名） 市職員（各回10名、計20名） 計51名
内容	連続性のある4回のワークショップで、市民対話により茅ヶ崎市の未来像を描く。 はじめに、茅ヶ崎市のよいところや魅力などのポジティブな面で“次の茅ヶ崎”にどんな魅力を残し、どんな強みを伸ばし、どんな弱みを改善するかを検討するとともに、茅ヶ崎市の「財産・ポテンシャル」とは何か考えてみる。次に縮小社会を見据えた上で（資源制約を意識して）、茅ヶ崎市にとって大切なこと、譲れないことなど茅ヶ崎市の未来を考えるポイントを考える。続いて、これまでの検討を踏まえ、茅ヶ崎市の「目指す豊かさ」とは何かについて検討し未来像のストーリーづくりを行う。最後に、資源制約などの茅ヶ崎市が乗り越えなければならない課題等を抽出し、これからの茅ヶ崎市を作り上げる道筋を考える。

プログラム概要	第1回	<p><b>テーマ：ちがさきってどんなまち？—茅ヶ崎市の良さを見つめ直す—</b></p> <p><b>&lt;ねらい&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強みと弱みの確認</li> <li>・ まちづくりの原動力となる良さ・ポテンシャルの再認識</li> </ul> <p>①市挨拶（服部信明 市長）</p> <p>②まちづくりワークショップの役割・進め方について</p> <p>③ミニ講座（話題提供）～茅ヶ崎市を考える視点</p> <p>④ワークショップ（1）茅ヶ崎市の良いところ・強み／悪いところ・弱みは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介（アイスブレイク）</li> <li>・ワールドカフェ（25分×2ラウンド）</li> </ul> <p>休憩</p> <p>⑤ワークショップ（2）“次の茅ヶ崎”で、「30年後も大切に残したいこと」「伸ばしていきたいこと」、「改善したいこと」を考える。</p> <p style="padding-left: 40px;">（3）茅ヶ崎市の「財産・ポテンシャル」とは何か考えてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク</li> <li>・発表（全体で共有）</li> </ul> <p>⑥振り返り、次回に向けて</p>
	第2回	<p><b>テーマ：これから、ちがさきに起こること—茅ヶ崎市を取り巻く変化を予測する—</b></p> <p><b>&lt;ねらい&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口・財政・・・マクロの視点からの予測（これから起こること、起こりそうなこと）</li> <li>・ 地域や暮らし・・・ミクロの視点からの予測（これから起こること、起こりそうなこと）</li> <li>・ 資源が縮小していく中での、政策立案や資源配分のシミュレーション</li> </ul> <p>①ミニ講座（話題提供）～15年後・30年後の茅ヶ崎市</p> <p>②ワークショップ：バーチャル市長（資源配分シミュレーション）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縮小社会を見据え、人口、財政等の制約下で、グループごとに、市長に政策（事業）と予算配分の案を作成するシミュレーション</li> </ul> <p>休憩</p> <p>③ワークショップ：茅ヶ崎市の未来を考えるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②を通じて感じたこと、グループで話し合ったことなどから、茅ヶ崎市民にとって大切なこと、譲れない願望、茅ヶ崎市の未来を考えるポイントを出し合うグループワーク</li> </ul> <p>④振り返り、次回に向けて</p>

	<p><b>テーマ：次のちがさをどう描く？—茅ヶ崎市がめざす未来像を考える—</b></p> <p><b>&lt;ねらい&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源が縮小し、社会が成熟していく中で「目指す豊かさ」とは？</li> <li>・ 大切にしたいこと、拠り所になる価値観、譲れない願望</li> <li>・ 茅ヶ崎市のポテンシャルを生かし、どんな未来を展望するか？ 10～20年後の未来像を描く</li> </ul> <p>第3回</p> <p>①ワークショップ：茅ヶ崎市の「目指す豊かさ」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回ワークショップ結果や第2回ワークショップ結果を振り返り、茅ヶ崎市の「目指す豊かさ」について検討する。</li> </ul> <p>②ワークショップ：未来像のストーリーづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①や、これまでのワークショップで考えてきた「強み」「制約」等を念頭に置き、未来の暮らし、まちのありようの「断片」を出し合う</li> <li>・ ②の断片をつなぎ、イメージが膨らむストーリーを描く</li> </ul> <p>③発表・共有</p>
	<p><b>テーマ：未来に続く地図を描こう！—未来像実現への道筋を考える—</b></p> <p><b>&lt;ねらい&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来像実現に向けた道筋を考える</li> <li>・ 未来から現在の振り返り：バックキャスト 乗り越えなければならない課題、チャレンジするテーマ</li> </ul> <p>第4回</p> <p>①ワークショップ：未来像実現に向けた道筋を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回の②で考えてきた未来像の実現に向けて、未来から現在を振り返り、取り組むべきこと、想定される障壁に対する解決策を考え、これからの茅ヶ崎市を作り上げる道筋を、グループワークで掘り下げ</li> </ul> <p>②発表・共有</p> <p>③全体振り返り、将来都市像の設定に向けて（キーワード出し）</p> <p>④市挨拶（御礼）</p>

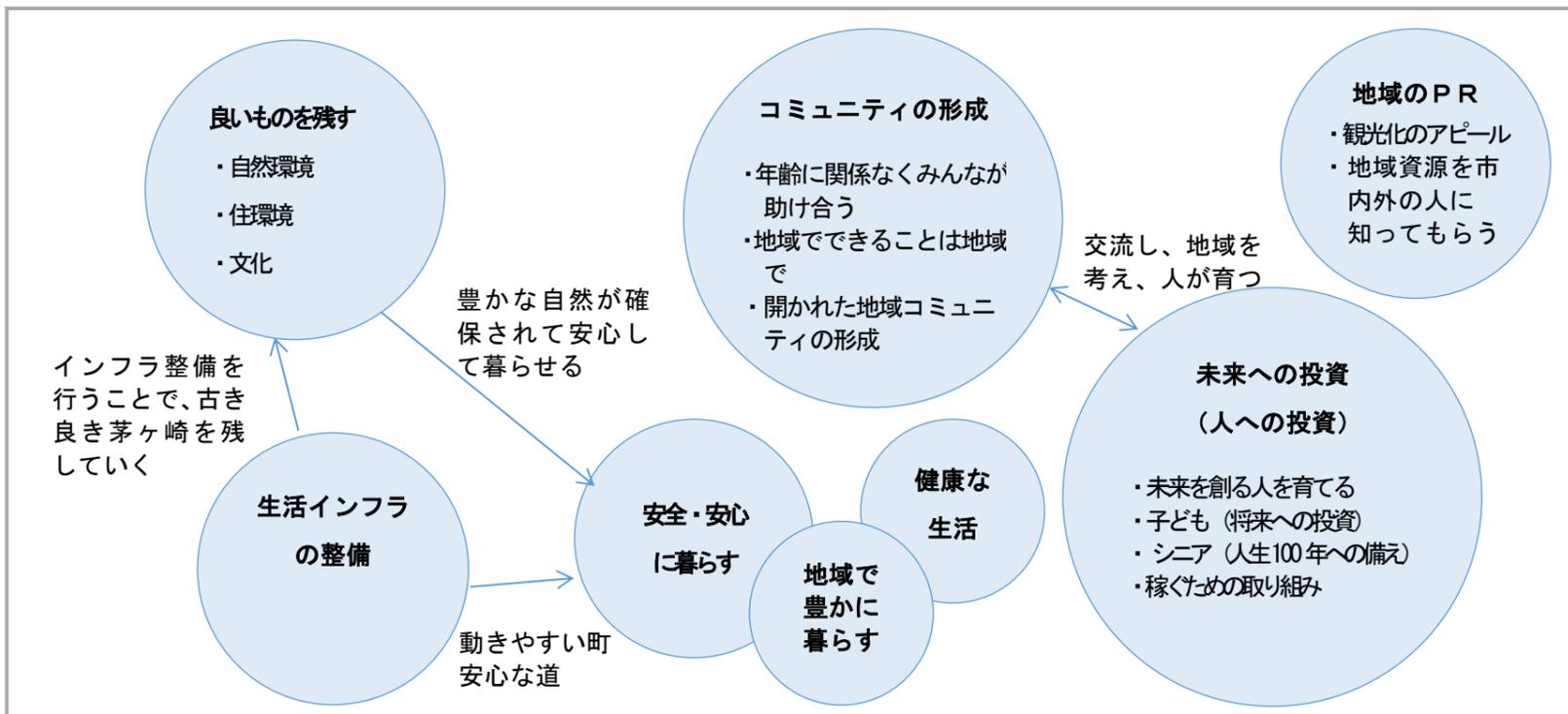
# 市民ワークショップ意見まとめ

## ◆ちがさきの未来を考えるポイント

全てのグループで共通して出された視点は、「ヒト」の視点である。「開かれた地域コミュニティを形成し、地域課題に取り組むこと」と、「未来をつくる人を育てていくこと」が挙げられ、それらが一体となって好循環を作っていくことが重要である。

また、茅ヶ崎市の発展の背景となってきた自然環境や住環境、そしてそこから生まれた文化など、茅ヶ崎らしい良いものを残していきたいという意見も多くあり、それらを守るために、生活インフラの整備は、行政の役割として重要である。そして、それらが実現する中で、いつまでも、地域で安全に、そして豊かに暮らしていける茅ヶ崎市を形成していくことが求められている。

茅ヶ崎市の発展には、観光化のアピールや地域資源の情報発信などが挙げられたが、観光化は生活環境の悪化につながるとの意見も見られた。



## ◆未来像実現を阻む障壁・問題と解決方法

障壁・問題		解決策
市民自治・市民参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政に対する市民の意識</li> <li>・市民への市からのアプローチ</li> <li>・参加への納得感がない（メリットが不明確、結果が不明確）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加結果の見える化（本当の姿）、市民意見反映の実感</li> <li>・教育（子どもも地域を知り、一主体であることに気づく）</li> <li>・気軽に参加できる場</li> <li>・住民からのサービス発信。行政だけのサービス提供を見直し、住民の力を表現できる体制を構築し、茅ヶ崎市に見合ったサービスを提供する</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画倒れ、策定疲れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画を策定せず、個別計画で対応</li> <li>・行政の組織改革（さらなる連携の推進）</li> <li>・議会の完全ボランティア化</li> <li>・成果主義（管理職試験）年功序列、終身雇用の廃止</li> </ul>
人材確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少への対策</li> <li>・若者の教育</li> <li>・若者の雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎応援団を作り、都心から戻ってこれるしくみを作る</li> <li>・外国人への優遇。地域住民と外国人との相互利益のしくみを作る</li> <li>・ボランティア活動支援と昼間の人口増への取り組み</li> </ul>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を知る機会</li> <li>・情報が集約されていない</li> <li>・情報収集方法がわからない</li> <li>・防災情報の不足</li> <li>・空き家情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを絞った話し合いの場</li> <li>・見やすくわかりやすい情報発信の工夫（リンク、地域ページ）</li> <li>・ITを活用した発信</li> <li>・ITリテラシー</li> </ul>
コミュニケーション	<市民と市のコミュニケーション> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なった意見を受け入れない職員</li> <li>・市の情報がオープンになっていない</li> <li>・市民のためのPDCA不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と双方向のコミュニケーションする職員（過程の議論）</li> <li>・マイナス点、課題の公開</li> </ul>
	<市民間のコミュニケーション> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題のマッチングがうまくいっていない。</li> <li>・他人への気遣い・マナーの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民間の「困ってる」と「助けられるよ！」のマッチングの仕組み（市民掲示板など）</li> <li>・住民誰でも登録、利用できるHP等を作成し、様々な分野でスポンサーを募り、地域から発信し、お互いで理解し合える関係性を作る</li> </ul>
財源の確保・稼げる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源が活用されていない（公園など）。</li> <li>・観光（デート）スポットがない。</li> <li>・観光資源をPRできていない。</li> <li>・集客</li> <li>・茅産の衰退（後継者問題）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力の活用</li> <li>・海岸線の有効活用</li> <li>・イベントの量産</li> <li>・株式会社茅ヶ崎/路上パーキング</li> <li>・シニアが活躍/ベンチャーサポート</li> <li>・一次産業の充実、茅産の継承</li> <li>・お金を落としてもらう仕組みづくり（カフェなど）</li> </ul>

◆持続可能なまちづくりのための事業選択で出てきたキーワード

サービス提供主体の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力・市民活力の活用</li> <li>・受益者負担</li> </ul>
複合化・統合化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数事業（類似、関連事業間）の複合化、統合化</li> <li>・施設更新と合わせた他施設機能の複合化・統合化</li> <li>・広域連携（近隣自治体との事業統合）</li> </ul>
代替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の代替検討（類似事業間の代替、地域コミュニティの促進による代替）</li> <li>・施設の代替検討</li> </ul>
取捨選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口縮小に合わせたまちづくりの推進（拡大抑制、縮小推進、新規投資の取捨選択）</li> </ul>

◆茅ヶ崎市の財産・ポテンシャル

茅ヶ崎市の強みとして、人があたたかい、外の人も受け入れてくれるなど、「ひと」の魅力が全てのグループから挙げられた。その背景となっているのが、茅ヶ崎市の魅力的な自然環境や住環境であり、人が集まることによって歴史や文化が形成され、人がつながり、さらに地域の良さが高まっていくという好循環を作っている。また、外から来た人や新しいものを受け入れる柔軟で、あたたかく、良いゆるさを持った地域のありようが、新しい価値を生み出し、地域の魅力を一層高めている。

